

殿

骨材試験報告書

令和 年 月

工事名：

工事場所：

試料名：コンクリート用砕石1505

福井県吉田郡永平寺町光明寺41-4

株式会社 西村砂利工業

TEL : 0776-63-3120



骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	株式会社 西村砂利工業
	所在地	福井県吉田郡永平寺町光明寺41-4
申依頼 請事者 項	試料採取日	令和5年4月17日
	試料採取場所	砂利プラント（骨材堆積場）
	試料採取者	宮浦 勝
試料搬入日		令和5年4月17日
試験日		令和5年4月17日 ～ 令和5年5月12日

試験体種類		産地
粗骨材	コンクリート用砕石1505	福井県勝山市坂東島山系

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	6.38
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	0.5
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.57
		実積率 %	59.7
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	—
密度及び吸水率試験	JIS A 1110	表乾密度 g/cm ³	2.65
		絶乾密度 g/cm ³	2.63
		吸水率 %	1.02
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	16.6
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	3.9
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.06
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率 %	—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	59.3
技術管理者		榎田 直也	
試験担当者		榎田 直也	

<試験実施場所> 株式会社M・T技研 中央材料研究所 福井県鯖江市二丁掛町7号6番地

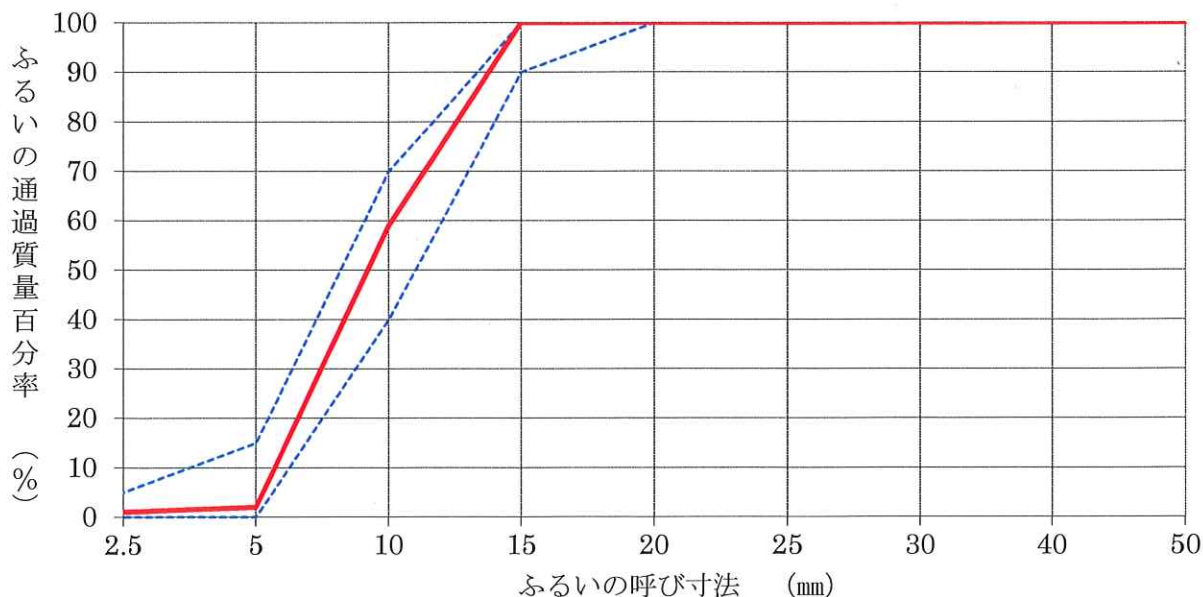
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

試験日	令和 5 年 4 月 20 日			
試料	種類	コンクリート用砕石1505	最大寸法	15mm
	産地	福井県勝山市坂東島山系		
	採取日	令和 5 年 4 月 17 日		
	採取場所	砂利プラント（骨材堆積場）		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	3249	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
50	0	0	0	100
40	0	0	0	100
(30)	0	0	0	100
(25)	0	0	0	100
20	0	0	0	100
(15)	0	0	0	100
10	1339	41	41	59
5	1836	57	98	2
2.5	27	1	99	1
受け皿	46	1	100	0
合計	3248	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.03	粗粒率	6.38	

粒度曲線図



試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 5 年 4 月 20 日	
試 料	種 類	コンクリート用砕石1505	
	産 地	福井県勝山市坂東島山系	
	採 取 日	令和 5 年 4 月 17 日	
	採取場所	砂利プラント（骨材堆積場）	
試 験 回 数		1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)	m_1	1670.5	1623.2
洗った後の試料の乾燥質量 (g)	m_2	1662.1	1615.3
骨材の 微粒分量 = $\frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	A	0.5	0.5
2回の試験の平均値 (%)	\bar{A}	0.5	
平均値からの差 (規格値:0.2%以下)		0.0	

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 5 年 5 月 11 日	
試 料	種 類	コンクリート用砕石1505		
	産 地	福井県勝山市坂東島山系		
	採 取 日	令和 5 年 4 月 17 日		
	採 取 場 所	砂利プラント (骨材堆積場)		
試 験 回 数			1	2
単 位 容 積 質 量	容器の質量 (kg)	(1)	6.700	6.700
	容器の容積 (l)	V	9.953	9.953
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	22.353	22.361
	試料の質量 = (2)-(1) (kg)	m_1	15.653	15.661
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.57	1.57
	2回の試験の平均値 (kg/l)	\bar{T}	1.57	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実 積 率	試料の絶乾密度 (g/cm^3)	d_D	2.63	
	実積率 = $\frac{\bar{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	59.7	

試験規格 JIS A 1110

粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 榎田 直也

試験日		令和 5 年 4 月 28 日		
試料	種類	コンクリート用砕石1505		
	産地	福井県勝山市坂東島山系		
	採取日	令和 5 年 4 月 17 日		
	採取場所	砂利プラント (骨材堆積場)		
試験回数		1	2	
表乾密度	表乾状態の試料の質量 (g)	m_1	1696.2	1694.3
	試料とかごの水の中の見掛けの質量 (g)	m_2	1456.0	1455.0
	金網かごの水の中質量 (g)	m_3	398.3	398.3
	試験温度における水の密度 (g/cm ³)	ρ_w	試験水の温度 20 °C	
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D_s	2.65	2.65
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	\bar{D}_s	2.65	
平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)		0.00		
絶乾密度	絶乾状態の試料の質量 (g)	m_4	1679.2	1677.1
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D_d	2.63	2.63
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	\bar{D}_d	2.63	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)		0.00	
吸水率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	1.01	1.03
	2回の試験の平均値 (%)	\bar{Q}	1.02	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)		0.01	

温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 JIS A 1121

ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者： 榎田 直也

試験日		令和 5 年 4 月 28 日					
試料	種類		コンクリート用砕石1505				
	産地		福井県勝山市坂東島山系				
	採取日		令和 5 年 4 月 17 日				
	採取場所		砂利プラント（骨材堆積場）				
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の 各群の質量 (g)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
(mm)	(mm)	質量 (g)	質量百分率 (%)	A~G	6~12	500または1000	m ₁
2.5	—	46	1				
5	2.5	27	1				
10	5	1836	57				2500
15	10	1339	41				2500
20	15	0	0				
25	20	—	—				
40	25	—	—				
50	40	—	—				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合計		3248	100	C	8	500	5000
試験後1.7mmふるいに残った試料の質量		(g)	m ₂	4171			
すりへり損失質量		m ₁ - m ₂	(g)	829			
すりへり減量		$= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$		16.6 (%)			

試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材							
試 験 日				令和 5 年 5 月 12 日			
試 料		種 類		コンクリート用砕石1505			
		産 地		福井県勝山市坂東島山系			
		採 取 日		令和 5 年 4 月 17 日			
		採 取 場 所		砂利プラント（骨材堆積場）			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量	試験後の 各群の質量	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$	骨材の損失 質量分率 $\frac{\text{①} \times P_1}{100}$
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
		質量	①質量分率	(g)	(g)	(%)	
(mm)	(mm)	(g)	(%)	m_1	m_2	P_1	(%)
10	5	1836	58	309	298	3.6	2.1
15	10	1339	42	510	488	4.3	1.8
20	15	0	0	—	—	—	—
25	20	—	—	—	—	—	—
40	25	—	—	—	—	—	—
60	40	—	—	—	—	—	—
合 計		3175	100	—	—	—	3.9

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。

試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 5 年 4 月 28 日	
試 料	種 類	コンクリート用砕石1505	
	産 地	福井県勝山市坂東島山系	
	採 取 日	令和 5 年 4 月 17 日	
	採 取 場 所	砂利プラント（骨材堆積場）	
試験前の試料の乾燥質量	(g)	m_{D1}	1602
試験後の試料の乾燥質量	(g)	m_{D2}	1601
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$	(%)	C	0.06

注1) 試験回数は、附属書Bによる。

試験規格 JIS A 5005 7.6

粒形判定実積率試験

試験担当者： 榎田 直也

試験日			令和 5 年 5 月 12 日	
試料	種類	コンクリート用砕石1505		
	産地	福井県勝山市坂東島山系		
	採取日	令和 5 年 4 月 17 日		
	採取場所	砂利プラント(骨材堆積場)		
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	6.700	6.700
	容器の容積 (l)	V	9.953	9.953
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	22.254	22.259
	試料の質量 = (2)-(1) (kg)	m ₁	15.554	15.559
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.56	1.56
	2回の試験の平均値 (kg/l)	\bar{T}	1.56	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
粒形判定実積率	試料の絶乾密度 (g/cm ³)	d _D	2.63	
	実積率 = $\frac{\bar{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	59.3	

※ 砕石2005を得るための骨材の混合割合(質量比)を以下に示す。

コンクリート用砕石2010 : コンクリート用砕石1505 = 4 : 6

